



地域社会の皆様とともに

地域の皆様と協力しながら、コミュニティの活性化に貢献しています。

2014年度の取り組み

人とくるまのテクノロジー展 2015 に出展

2015年5月にパシフィコ横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展 2015」に出展し、「CONNECT to the Future」をメインテーマに、「クルマの中・クルマと人・クルマと暮らし、のそれぞれをつなぐための技術」を紹介しました。当日は多くの来場者に、Eコネクタ*とこれにより実現した先進的な調光システムを説明し、来場者にその機能を体感していただきました。

今回の、人とくるまのテクノロジー展の総来場者数は80,000人を超え、訪れた多くの来場者へ矢崎の技術を総合的にアピールするよい機会となりました。

*Eコネクタ 詳細は33ページで説明



多くの関心を集めたEコネクタの展示

エコプロダクツ 2014 に出展

2014年12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ 2014」に出展し、「竜宮城」をモチーフとした体験ブースを用いて、子どもから大人まで幅広い年齢層に矢崎グループの製品および環境保全に対する姿勢についてアピールしました。

矢崎ブースは3日間で延べ2,000人を超える来場者にお越しいただき、27名のボランティア従業員がインストラクターとして子どもたちのブース体験をサポートしました。



竜宮城をモチーフとした体験型ブース

静岡マラソン 2015 に協賛

2015年3月に、矢崎グループが協賛する「静岡マラソン 2015」が開催され、全国から11,000人のランナーが参加し、矢崎グループからは30名が出走しました。また、当日はあいにくの天気でしたが、7名の従業員が給水所でボランティアスタッフとして、力走するランナーに水を配ったり、声をかけたりして、大会を盛りあげました。



ボランティアスタッフが活躍した給水所の様子

「矢崎百年の酒プロジェクト」に挑戦

矢崎グループの75周年を記念する活動のひとつとして、2015年6月から大分県佐伯市で「矢崎百年の酒プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、地域の皆様とともに矢崎グループ従業員が、米づくりとその米を使った焼酎づくりへの挑戦と佐伯市内各地の清掃活動を行うというものです。

第一回目となる6月13日に、従業員8名が地域の皆様にご指導いただきながら、関連子会社であるアローファーム大分(株)が所有する水田で、西日本の代表的な品種「ヒノヒカリ」の田植えをしました。

本プロジェクトで完成した米焼酎、全3,750本のうち半数は25年間熟成貯蔵し、矢崎グループが100周年を迎える2041年に開封する予定です。



地域の皆様のご指導のもと苗の手植えを実施